

「琵琶湖と水を調べよう！」

滋賀地方見学会

市民幹事会

晩秋の平成11年11月14日（日）に土木学会関西支部・滋賀県土木部が主催する地方見学会を滋賀県で実施しました。

「琵琶湖と水を調べよう！」をテーマとして、「大津放水路建設現場」・「湖上環境体験学習」・「琵琶湖博物館」を体験できる内容で公募して、3歳から72歳までの41名の一般市民の方々に参加いただきました。当日は、まさに見学会にふさわしい快晴で、穏やかな天候でありました。

朝8時45分にJR大津駅前に集合していただき、全員に名札を付けてもらい、バスで第1番目の目的地である大津放水路建設現場に向かいました。

現場では、発注された建設省琵琶湖工事事務所と施工されている鹿島・清水JVの方々に建設の目的や事業効果についてのわかりやすい説明をしていただき、そして、いよいよ全員で地下深くに案内していただきました。そこには、見る者を圧倒させる西日本最大級のシールドマシンが鎮座しており、そのスケールの大きさと現場の整然さに感動しました。「自分たちの住んでいる町の下にこんなに大きな空間があったのか！野球もできる！」本当に一同ビックリでした。



大津放水路にて

そして、興奮覚めやらぬままに、現場のすぐ近くの瀬田川石山寺港より滋賀県の環境セミナー船「みずすまし」に乗船して、心地よい風に吹かれて琵琶湖に船出しました。コースは沖島と雄琴沖を回る約2時間半のクルーズで、船上では環境啓発アドバイザーに指導していただき琵琶湖の透明度、水質、微生物などを自ら試薬



琵琶湖上での水質検査



採取したプランクトンを顕微鏡で観察

や顕微鏡を使って学習して、水質保全の大切さや琵琶湖の大きさについて再確認することができました。

ラストは「湖と人間のよりよい関係をめざすための入り口として来館者との双方向の交流を大切に」を建設スピリットとしている琵琶湖博物館を見学しました。初めに研究員の方々に、琵琶湖の歴史や水環境の保全などについての講義をしていただき、そして、自由見学となりましたが、その講義やいろいろと体験した後でありますので、私自身3度目ですが、より深く、より興味深く見学することができました。

船酔いやけがもなく、無事終了することができ、また、アンケート結果も概ね良好でしたのでスタッフ一同安堵しております。最後に、地方見学会に関わっていただきました皆様に心より感謝いたします。